

「シドニー便り 2. 0」(第6回)

～ 年末の御挨拶 ～

12月15日

2022年も間もなく暮れようとしています。

皆さま、9月に着任以来の3か月近くの間、たいへんお世話になりました。あっという間に名刺入れがいっぱいになるほどの多くの出会いと、それぞれの出会いで伺ったお話のおかげで、シドニーでの勤務を快適かつ円滑に開始することができました。

出会いの機会をいただいた皆様に、心より御礼申し上げます。

着任以来、週末はできるだけ街に出て、シドニーの街を「体感」することに努めました。

特に歴史的建造物、博物館・美術館の類は早めに回ろうと思い、積極的に足を運びました。

アンザック戦争記念館(The ANZAC Memorial)、オーストラリア博物館(Australian Museum)(サメの特別展示も実施中でした)、改装された州立美術館(Art Gallery of NSW)、州立図書館(State Library of NSW)、現代美術館(Museum of Contemporary Art)、シドニー博物館(Museum of Sydney)、海事博物館(Australian National Maritime Museum)、パワーハウス(Powerhouse Museum)、税関(The Customs House)、ロックスのケン・ドーン・ギャラリー(Ken Done Gallery)、ボークルーズ・ハウス(Vaucluse House)を訪れ、タウンホール(Town Hall)は市議を訪問した際に案内してもらいました。ちなみにビクトリア・バラックス(Victoria Barracks)は閉鎖中でした。まだまだ訪問できていないところもありますので、さらに見聞を広めたいと思います。

2022年は私にとり初の南半球勤務、シドニーに赴任できたということで、人生で記念すべき一年となりました。人生初の真夏のクリスマスと新年を楽しみたいと思います。

皆さま、どうぞよいお年をお迎えください。そして2023年が皆さまにとりましてさらに良い一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

Have a Marvelous Christmas and New Year !

(以上)

